

愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

平成 19 年 23 週(6 月 1 週 6/4 ~ 6/10)

平成 19 年 5 月分月報

(作成) 愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

- ・トピックス
- ・注意する感染症
- ・定点医療機関コメント
- ・全数把握感染症発生状況
- ・平成 19 年 5 月分月報
- ・定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

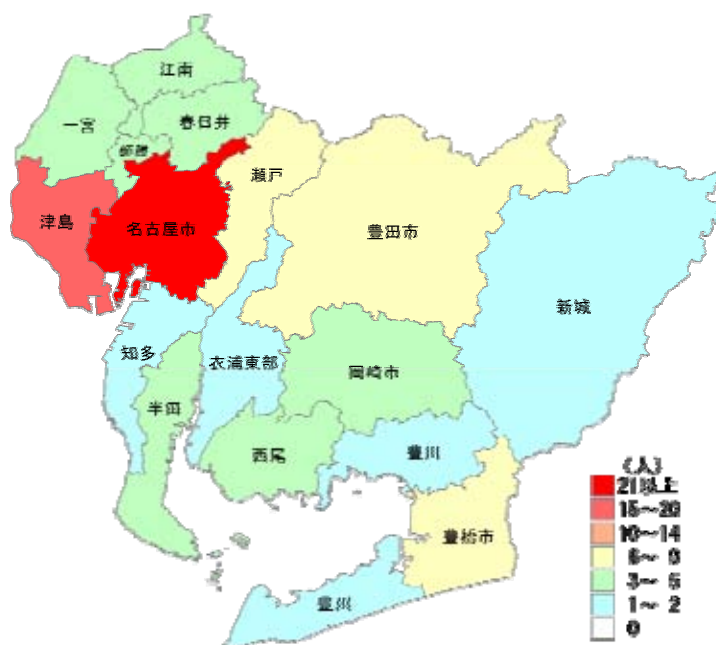
トピックス

麻しんの発生状況

感染症発生動向調査によると、2007 年 22 週(全国の速報値)の小児科定点(全国約 3,000 か所)からの麻しんの報告数は 204(定点当たり報告数 0.07)と前週比 0.9 倍(215 → 204)でした。関東地域からの報告数は、千葉県の 44 を始め計 126 と全国の 62% を占めています。愛知県の報告数は 6 です。

基幹定点(全国約 450 か所)からの成人麻しん(15 歳以上)の報告数は 65(定点当たり報告数 0.14) 前週比 0.8 倍(82 → 65)と減少しました。関東地域からの報告数は東京都 23 を始め計 39 と全国の 60% を占めています。愛知県の報告数は 0 です(参考ページ 1)。

愛知県麻しん全数把握事業(参考ページ 2)における患者報告数は 133 人(6 月 13 日現在)、うち成人麻しんは 84 人です。23 週における患者報告数は計 21 人と前週(31 人)より減少しました。



麻しん・成人麻しん患者保健所別発生分布図
(患者所在地が県外 3 名、不明 4 名を除く。)

【参考ページ】

- 1) 「IDWR(感染症発生動向調査 週報)」(国立感染症研究所・感染症情報センター)
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/index.html>
- 2) 「麻しんの全数把握事業が始まりました」
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>
- 3) 「麻しん(はしか)に注意しましょう!」
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/measles2.html>

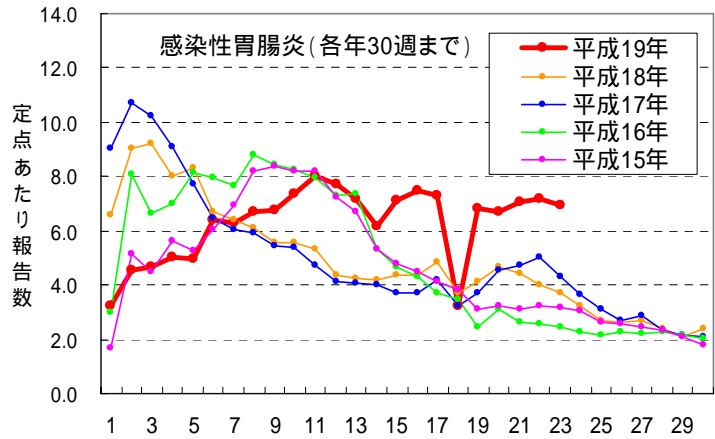
注意する感染症

1) 感染性胃腸炎

23週の定点あたり患者報告数は7.0人、前週比1.0倍(1,309人 1,268人)です。14週以降、過去9年間の同時期において最高値を継続しています(18週を除く)。

参考ページ「感染性胃腸炎」
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/ichouen.html>

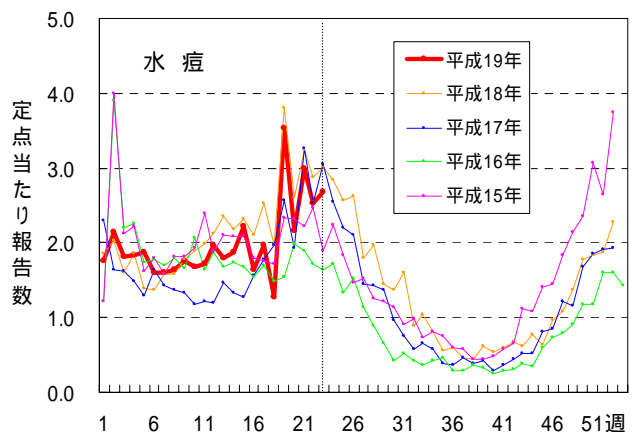
各年52、53週までのグラフは「グラフ総覧」をご覧ください。
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>



2) 水痘

23週の定点あたり患者報告数は2.7人、前週比1.1倍(459人 487人)です。

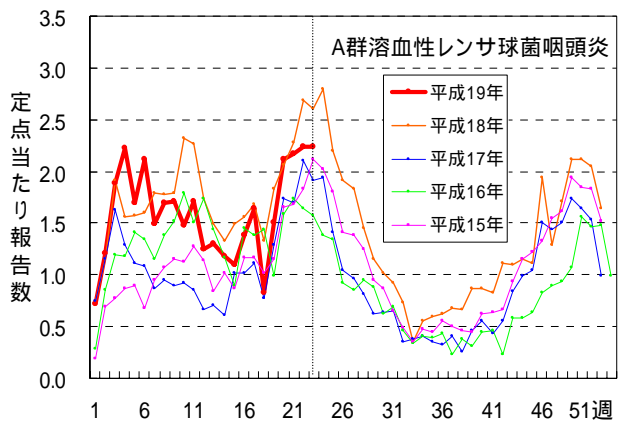
参考ページ「水痘」
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/suitou.html>



3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

23週の定点あたり患者報告数は2.2人、前週比1.0倍(407人 407人)です。

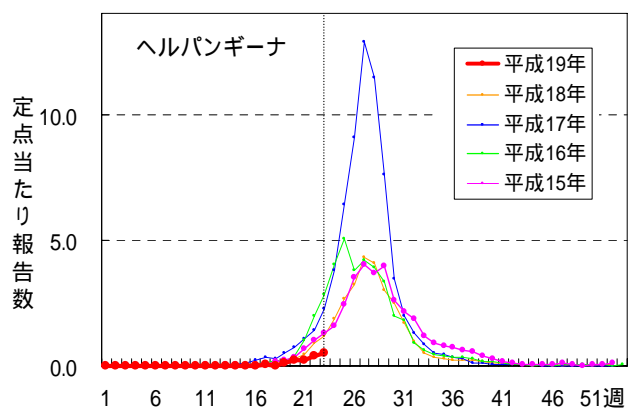
参考ページ「溶血性レンサ球菌咽頭炎」
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yourenkin.html>



4) ヘルパンギーナ

23週の定点あたり患者報告数は0.5人、前週比1.4倍(71人 98人)です。

参考ページ「ヘルパンギーナ」
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/herpangina.html>



定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

43歳女 A型インフルエンザ
アデノチェック陽性の発熱者 6名
【一宮市 あさのこどもクリニック】
5歳男 マイコプラズマ気管支肺炎
5歳男 アデノウイルス感染症 キャピ
リアアデノ陽性
【一宮市 後藤小児科医院】
病原性大腸菌O18 1歳男1名
【一宮市 城後小児科】
水様下痢の胃腸炎が見られるようになり
ました。
溶連菌は減少してきましたが、10歳代の子
に見られます。

【犬山市 武内医院】

溶連菌感染症、水痘、感染性胃腸炎が多く
みられています。
伝染性紅斑2名ありました。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
溶連菌感染症多発
水痘多い
A型インフルエンザ2例ありました。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
43歳男 病原大腸菌（O18）検出
4歳女ロタ（+）
嘔吐下痢を伴った胃腸カゼがまだ多いよ
うです。

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

感染性胃腸炎が多い
病原大腸菌（O1）5歳男
マイコプラズマ感染症多い
インフルエンザA型2名
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
水痘小流行
その他、溶連菌感染症散発
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
O74
【尾張旭市 旭労災病院】
手足口病、今年度最初です。
【春日井市 春日井市民病院】
溶連菌感染症増加
手足口病少々
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
インフルエンザA型3名
インフルエンザB型1名
【春日井市 医療法人聡彩会片山こどもクリニック】

インフルエンザA型1名
【春日井市 稲垣内科】
RS細気管支炎 1例とA型インフルエンザ
1例ありました。
【小牧市 小牧市民病院】
カンピロバクター腸炎もかなり見られます。
【小牧市 志水こどもクリニック】
カンピロバクター腸炎5名
マイコプラズマ肺炎1名
【美浜町 厚生連知多厚生病院】
感染性胃腸炎 ロタウイルス1名
【東海市 東海市民病院】
溶連菌感染症、りんご病がちらほら出てい
ます。
【大府市 まえはらこどもクリニック】
水痘、胃腸かぜが多いです。
アデノウイルス扁桃炎 1名
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

4歳男 キャピリアアデノ（+）
5歳男 キャピリアアデノ（+）
6歳女 キャピリアアデノ（+）
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
サルモネラO9群 3歳男
特に多い感染症なし
【岡崎市 花田こどもクリニック】
1歳女 病原性大腸菌O1（+）VT（-）
1歳男 病原性大腸菌O168（+）VT（-）
溶連菌感染症、多いです。
ヘルパンギーナ散見しています。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
アデノ（+）4歳男、3歳男2人、3歳女、
9歳男
8か月男 病原性大腸菌O1（+）VT（-）
4歳女、2歳男 病原性大腸菌O74（+）
VT（-）
3歳男 病原性大腸菌O25（+）VT（-）
カンピロバクター 7歳女、12歳男
【岡崎市 にいのみ小児科】

10歳女 病原性大腸菌O74
8歳男、6歳男 マイコプラズマ肺炎
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
感染性胃腸炎が増加
マイコプラズマ肺炎 3名
【知立市 宮谷クリニック】
アデノウイルス感染症、水痘が目立ちます
【碧南市 永井小児クリニック】
マイコ感染症 4名
【刈谷市 田和小児科医院】
水痘が多かったです。
1歳女 カンピロバクター
2歳男 病原性大腸菌O129（VT-）
1歳男 病原性大腸菌O6（VT-）
4歳女 病原性大腸菌O159（VT-）
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

8歳女 カンピロバクター腸炎
 3歳・8歳女、11歳男 マイコプラズマ肺炎
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
 保育園児を中心に水痘流行中
 【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
 中学生のマイコプラズマ肺炎が散発しています。
 【豊川市 豊川市民病院】

病原性大腸菌O1 4歳女、5歳女、1歳女
 O6 4歳男、5歳女、4歳女
 O15 2歳男、1歳女
 O25 6歳男、5歳男
 サルモネラO4 3歳女
 【豊川市 ささき小児科】
 <STD定点5月分コメント>
 4/25 検査中であった 22歳男クラミジア(+)
 5/25 検査中 48歳男(クラミジア・淋)
 【豊川市 豊川市民病院】

一～三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。)-

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun070401.pdf>)

結核 (二類感染症)

報告保健所	23週報告数(6月13日現在)		累計(2007年14週~23週)	
	(喀痰塗抹検査陽性者数・再掲)		(喀痰塗抹検査陽性者数・再掲)	
豊田市	1		18	4
豊橋市			4	
岡崎市	2	1	14	9
一宮	3		21	8
瀬戸	3	2	22	11
半田			9	3
春日井			23	5
豊川			11	7
津島			11	5
西尾			8	6
江南			14	6
新城				
知多	2	1	14	7
師勝			9	3
衣浦東部	1		8	1
合計	12	4	186	75

腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	春日井	2	男	6/1	6/2	6/6	O157、VT1・VT2(+)

四類・五類（全数把握）感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

E型肝炎 4例

後天性免疫不全症候群 1例

・無症候期、推定感染地域；ウガンダ、感染経路不明

梅毒 2例

早期顕症、推定感染地域；国内、推定感染経路；性的接触

早期顕症、推定感染地域；国内、推定感染経路；性的接触

平成 19 年 5 月分月報

(平成 19 年 6 月 12 日現在)

5 月の一～五類感染症（全数把握対象）発生状況

「診断日」に基づく集計です。

平成 19 年度に発生のおった疾病名 内は全数把握対象疾病数	平成 19 年 5 月			平成 19 年度 累 計 <愛知県全体>	内訳 (5 月)	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体			
一類 感染症 7				発生報告無し		
二類 感染症 4	結 核	82	64	146	290	
三類 感染症 5	細 菌 性 赤 痢	4		4		
	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染	7(1)	3	10(1)	12(2) O26 2件 O157 8件	
四類 感染症 41	E 型 肝 炎	1		1		
	A 型 肝 炎				1	
	オ ウ ム 病		1	1	1	
	デ ン グ 熱				1	
	レ ジ オ ネ ラ 症	1	3	4	6	
五類 感染症 14	ア メ ー バ 赤 痢		2	2	4	
	ウ イ ル ス 性 肝 炎 及 び A 型 肝 炎 を 除 く。		1	1	3	B 型 1 件
	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病				1	
	劇 症 型 溶 血 性 症 及 び レ ン サ 球 菌 感 染 症				1	
	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 期	5	8	13	30	A I D S 1 件 無 症 候 性 1 1 件 そ の 他 1 件
	バ ン コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症	1		1	1	
	梅 毒	1	5	6	12	早 期 顕 症 5 件 無 症 状 1 件

() 内は無症状病原体保有者再掲。

五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 19 年 5 月			平成 19 年 4 月		
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	96	70	166	71	57	128
2	性器ヘルペスウイルス感染症	31	41	72	26	41	67
3	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	22	15	37	27	22	49
4	淋 菌 感 染 症	39	41	80	27	40	67
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	76	4	80	68	3	71
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	9		9	3		3
7	薬剤耐性緑膿菌感染症				1		1

上記の報告数は感染症月報指定届出機関(性感染症 : 52、基幹 : 13 医療機関) で把握したものです。

感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症 (7 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (4 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5 疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41 疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症（人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。）
五類感染症 (41 疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
指定感染症	既知の感染症（一～三類感染症を除く）のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与える恐れがあるもの。一年間に限定した指定。

